

ほけんだより



長与小学校 3月

今年度も終わりが近づいてきました。たくさんの思い出が詰まった1年間の締めくくりの時期です。

充実した1年を過ごせたでしょうか。心も身体も元気に過ごせたでしょうか。振り返りをしながら、来年に向けての目標やその対策を立てましょう。そして新しい学期を元気に迎えてください。

来室記録より（3月14日現在）

1年間に保健室へ来た人は、全部で4142人でした。けがで来た人は2944人、病気で来た人は1198人で、病気の人約2.5倍の人がけがで来ました。

けがの中で一番多かったのがすり傷で1254人、次に多かったのは、打撲で680人でした。



けがをしてスポーツ振興センターの適用になったのは、30件でした。



また、1年間で最も欠席が多かった日は、インフルエンザの罹患者が急増した10月24日で82人でした。

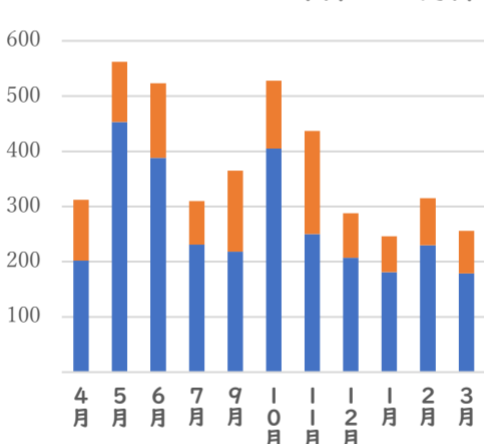
名札を付けて来室した人が多かったのは、12月の68.1%でした。

来年は少しでも来室者が減り、元気に過ごせることを願っています。



年間来室状況

■ 外科 ■ 内科



保健室からのつぶやき



「無くなるものは、無くなるの。てのかわりに新たな出会いがある。」

生きるとは、出会いと別れの繰り返しですね。とても長く自分の側にある（居る）何かがあれば、瞬間間に去ってしまう何かもある。ずっと永遠にと信じていたものがふと気付いたら消え去っていたりもする。

人生は、本当に一期一会です。今というこの時もどんどん去り続け、その一方では次々に訪れる「未来」と出会い続けているのが私たちです。

「失うことを恐れる必要はないよ。私たちは何かを失う時、必ず新たな何かと出会うのだから。」

親がそう信じ、子供にもそう伝えながら生きるのが幸せではないでしょうか。

「子どもを勇気づけるっておきの言葉」

金盛浦子著より 一部抜粋